

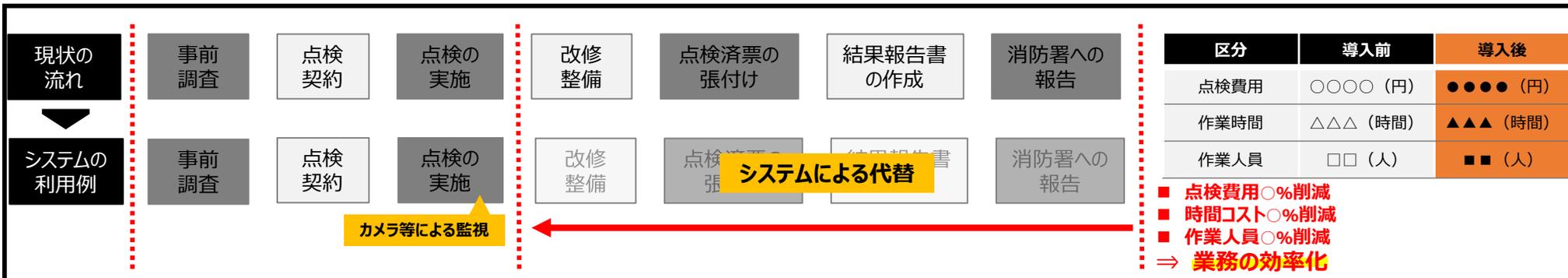
3.効果・課題について

■ デジタル技術等を活用することで得られる効果（異常の程度の判別の可否や正確性、点検の効率化）について記入してください。

- 今回提案した消火器は、一定の条件下であればメンテナンス不要となることから、異常がほぼ発生しないものと考えられる。
- 今回提案したカメラでは、目視では確認できない消火器の微細な変形を感知することができる。
- 今回提案した点検方法は、自動火災報知設備の異常の有無について、クラウド管理しているため、現地に出向せずとも遠隔地からモニター等により管理することが可能で、点検の高度化や効率化につながる。

※ デジタル技術等を活用した点検方法について、現在の点検基準と同等以上の安全を担保できることを示す試験データや実験結果を添付してください。

■ デジタル技術の活用に係る費用（現在の方法と比較した場合の経済性）について記入してください。



■ デジタル技術等を活用するための制度的課題となっている消防法令上の規定とその内容に対する解決方法を記載してください。

- 消防法令（消防法施行令第〇〇条）において、●●と規定されており、××することができないため、消防法施行令第▲▲条の改正が必要と考えられる。
- 点検基準（消火器）において、点検項目●●と規定されており、××することができないため、点検基準▲▲の改正が必要と考えられる。
- 点検要領の改正（消火器）において、●●と示されており、××することができないため、点検要領▲▲の改正が必要と考えられる。
- 〇〇に係る技術上の規格を定める省令において、●●と示されており、××することができないため、別紙に示すとおり、〇〇に係る技術上の規格を定める省令第▲▲条の改正が必要でありと考えられる。